

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 三原慎也
副 会 長 : 野田三津雄
幹 事 : 西村 肇
公共イメージ : 松森 薫
会報担当者 : 田中義久

2023 年度国際ロータリー会長：ゴードン R. マッキナリー (サウス・ウエスト フェリー ロータークラブ・スコットランド)

2023 年度国際ロータリーテーマ：CREATE HOPE in the WORLD (世界に希望を生み出そう)

<本日のプログラム>

第 2863 回 令和 6 年 3 月 14 日 第 2 木曜日
郡上青年会議所との交流会 (積翠園にて)

<次回の予定>

第 2864 回 令和 6 年 3 月 21 日 第 3 木曜日
会員卓話 山川直保会員
河合 修会員

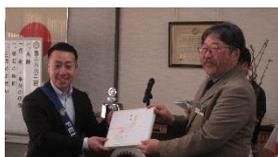
<前回の記録>

第 2862 回 令和 6 年 3 月 7 日 木曜日
長期計画全体会議 前田伊三夫会員

司 会 進 行	長尾信幸 SAA
点 鐘	三原慎也会長
ソ ン グ	国歌「君が代」・奉仕の理想
情報 の 時 間	和田英人情報担当責任者

「四つのテスト」唱和

3 月のお祝 可児一彦親睦委員長
会員誕生日



12 日 三原慎也会員 30 日 細江洋司会員

結婚記念日

8 日 渡邊 剛・恵美子ご夫妻
9 日 遠藤一史・古都美ご夫妻
14 日 竹内巧治・眞理子ご夫妻
20 日 田中義久・史月ご夫妻
24 日 永瀬和郎・早苗ご夫妻
30 日 森下 光・利子ご夫妻

配偶者誕生日

5 日 松森喬子様

1 分間スピーチ 遠藤一史会員



皆さん、こんにちは。結婚のお祝ありがとうございました。何年になるか忘れましたが仲良くやっています。最近妻が、ネットでこ

まごまと株をやることにハマっていて、株を億以上動かす人のことを億り人というそうです。私は違う意味のおくりびとをやっておりまして、妻には頑張って億り人になってくれといつも言っておりますが、これからも夫婦円満で頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

出席報告 森下 光出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
37 名	32 名	2 名	34 名	91.9%

ニコBOX 國田大雄ニコ BOX 担当責任者

- ・前田君、本日の長期計画全体会議宜しくお祈いします。 三原慎也
- ・本日の卓話、前田君の長期計画全体会議宜しくお祈いします。 西村 肇
- ・会員誕生日のお祝をありがとう。 三原慎也
- ・結婚記念日のお祝をありがとう。 渡邊 剛・遠藤一史・竹内巧治
田中義久・永瀬和郎・森下 光
- ・配偶者誕生日のお祝をありがとう。 松森 薫
- ・長期計画全体会議、前田伊三夫会員宜しくお祈いします。

平岩あゆみ・平岩憲政・廣瀬泰輔・細江洋司
岩出明喜・岩尾 誠・可児一彦・河合 修
河合和也・國田大雄・前田伊三夫・水上成樹
村井裕孝・長尾信幸・永瀬和郎・西川 昇
小笠原正道・大川達也・酒井智義・霜野賢一
竹内巧治・和田英人・徐 飛・山川直保
山下友幸

幹事報告 西村 肇幹事

- ・四日市東 RC よりビジター受付について
<拝受>
- ・関中央 RC より週報

委員会報告

和田英人情報担当責任者

- ・今月の IDM のお知らせ

可児一彦親睦委員長

- ・14日の JC 交流会の連絡

会長の時間 三原慎也会長



皆さん、こんにちは。先ほどは誕生日のお祝をありがとうございました。今現在 59 年と 361 日生きております。あと 5 日で 60 歳という事で還暦を迎えますが、還暦を迎えても元気でいたいと思っております。私の誕生日は 3 月 12 日ですが、だいたいその日は東大寺の二月堂でお水取りが行われるというのが毎年ニュースになりまして、関西の方では、それが終わると春が来ると昔から言われていたようです。よく「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、この頃から春らしくなってくるんだなということを感じております。あと、3 月に多いのが、なぜか昔の国鉄、今の JR の時刻表の改正です。昔から 3 月 10 日前後ぐらいに行われていて、昔は今みたいにインターネットがないので、旅行に行く時は時刻表を使っていました。本屋に毎月出る時刻表がありますが、4 月に 4 月号を買いに行くと改正後の新しい時刻表が載っていて、うちでもお客さんで JR を使う方がおられましたので、昔は年に一回、その改正後の時刻表を本屋で買って来た記憶があります。今年 3 月 16 日に、今まで北陸新幹線が金沢までだったのが、福井・敦賀まで延伸されます。北陸新幹線という私たちには関係ないような感じがあるんですが、5 年ぐらい前に会議があって東京へ行った時に、私は高速バスと新幹線を使って東京に行ったんですけど、その会議は東日本の 26 か所ぐらいのところの集まりで、岐阜県から私と高山の方が一人行きました。その時に、グループに分かれていろいろな研修を受けたんですが、北海道の方に聞くと飛行機で飛んでくるだけで一時間もかからないと言われ、私は高速バスと新幹線を使って約 4 時間弱ぐらいで行ってまいりました。その頃いちばん時間がかかったのが、たぶん福井の方で、福井からだ、その頃は米原まで出て、そこから新幹線で来ると 5 時間ぐらいかかるというような話をしました。それが今回、北陸新幹線が福井まで行きますので、福井ー東京間が 2 時間 51 分、3 時間切って福井から東京まで行けるということで、私たちの方が時間的に遠くなるんじゃないかなってことを北陸新幹線のニュース

を聞いて思いました。だいぶ前に、ひるがの方の方に東京行くには？って聞いたら、自分は富山空港から飛行機で行くのが一番早いと言われたので、東京に行くのにこの辺が一番時間がかかるのではないかなと思いつつ、北陸新幹線の開通のニュースを見ておりました。福井には今、中部縦貫自動車道がもう繋がっておりますので、あと何年かすれば油坂まで繋がりそうなので是非行ってみたいと思っています。まだ九頭竜から大野まで抜けた新しい道路を通っていませんので、雪の心配がなくなったら北陸の方へ行ってみたいと思っております。

今日は長期計画全体会議です。前田君、宜しくお願いします。

長期計画全体会議 前田伊三夫会員



皆さん、こんにちは。長期計画ということですが、実際に会長になるのが四年後になります。長期計画といっても正直言うとよく分かりませんが、今ロータリークラブの内外で言われていることをちょっと調べてみました。

ロータリークラブでよく言われているのが、補助金事業に関してです。グループ内の他のロータリークラブの話を見ると、補助金を使って実際に事業を行っています。ただ、一年間でできるものではなく、長期的な形でやらないとできないもので、各ロータリークラブでも、一年で交代してしまうので実行に移すということになると、なかなか難しいのが現実という話が出ておりました。よそのクラブの補助金事業を調べてみると、やっているところには確かにいろいろな事業がありました。補助金の種類を調べてみましたが、まず、人道的プロジェクト。奉仕活動を行うために現地で活動をする。それから奨学金。教育機関のレベルや場所、支給期間といったこと。そして、青少年プログラム。ロータリー青少年交換とかロータリー指導者の養成プログラム、専門職業を持つ人々から職業研修チームの派遣など、いろいろな補助金事業の種類が示されております。ちなみに、補助金の支給額というものは、当然全額支給されるものではなく、毎年申請はできるんですが、そのうちの 50%、三年前に地区に年次募金を寄付した額によって補助額が決まるそうです。ちなみに郡上八幡 RC は、例えば ABC ランクでいうと、1 番低い C ランクになります。あと、補助金支給後に関しては、12 ヶ月以内または補助金を全額支出してから 2 ヶ月以内に最終報告を提出しないといけないということです。それと、プロジェクトと活動に望ましくは 18 カ月以内に完了しなければいけない。18 カ月という、やはり 2 期にかけてやらないといけないということで、ロータリーの 1 年間でやるのは非常に無理というようなことに

なってきますので、よそのロータリークラブなんかの話の聞いていると、もしやろうと思うと、やはり2期もしくは3期に渡ってやらないと、とても無理だということを言っておりました。でもそういうことも、自分が例えば会長の時にやろうと思うと4年後なので、よその事例でいくと長期計画委員会というものを作って、それを2年間もしくは3年間に渡ってやって、こういった補助金事業をやるということが1つ望ましいことだと思います。ちなみによその事例でいいますと、豊橋北RCなんかですと干潟の環境整備というので、事業費が64万6千円に対して27万8千円の補助金をもらってやっております。その他のところで見ると、例えば公園のPRイベントとか、それから豊田東RCのキッズ・ファーム・チャレンジという事業がだいたい40万円に対して15万円の補助金とか、安城のロータリークラブなんかですとインドネシアにランドセルを送ろうというような事業で、37万円に対して17万円ぐらい補助金が出ている状況なので、最大50%とかはなかなか難しいかもしれませんが、なかには4割ぐらい補助金をもらって事業を行っているところもあります。あとその他でいいますと、うちでもやっていますけど、ロータリー杯としてサッカー大会の支援とか、あとは障害児童とのスポーツ交流、それから、カンボジアの小中学校へ給食支援とか、変わったところでは小学生のヨーヨー体験とか、調べると各ロータリークラブで様々な補助金事業を行っています。ちょっと見た感じではスポーツ関係が多いのかなというのがあって、郡上の地域でもスポーツ関係に対する支援とかができそうな感じがします。これらの補助金事業に関しては、先ほども言いましたが、3年前の補助金の度合いに応じて補助額が変動するので、当クラブの場合はやはり低いことになるので、実際に実行しようとする理事会を開いてやるべきではないかなと思っております。

次に、現ロータリークラブの問題点として、どこのクラブでも会員数の減少が本当に問題視されています。この郡上八幡RCは今37名です。私がクラブに入った時は56~57名ぐらいでした。そう思うと、だいたい7割から6割程度というような状況になってきているのが現状です。先日、西村幹事と一緒に幹事会に出席させてもらいましたが、他の各ロータリークラブも会員数の減少が問題だと言っておりました。その中で、どういう対策をしたらいいかという話が出ていましたが、美濃RCは月に2回懇親会を行うということで、月に2回は昼間に例会、もう2回は夜に懇親会を開くというような形を取ってみえるクラブもあります。それから関RCも一回はやっているようで、とにかく懇親ということを重視して、それで若い会員を増やしているという話がありました。とにかく懇親を深めないで退会する会員を止められないということで、どこもかなり厳しい状況なので、とにか

くそういった努力をしているのが現状です。今、人口がどんどん減っている状況で、どこの会社でもそうだと思いますが、従業員を確保するのが大変という話をずいぶん聞いています。それと比例して、ロータリークラブの会員数の減少を止めるということも非常に難しくなってくると思うので、この5年後とか10年後のことを思うと、これからはそういった懇親というものもかなり大事になってくるのかなと思っております。

自分が思うロータリークラブということですが、世界的なロータリーでいえば世界平和ということが目標としてくるのではないかなと思ってますし、自分のクラブということになると、やはり五大奉仕部門っていうことです。1つ目はクラブ奉仕。クラブ内の奉仕を行うということ。2つ目に職業奉仕。職業を通じて、職業を利用しての奉仕。3つ目に社会奉仕。社会に対しての奉仕。4つ目に国際奉仕。国際交流を通しての奉仕。5つ目に青少年奉仕。青少年の育成のための奉仕。こういうことがロータリーのひとつの目標的な形となってきますので、こういった活動の必要性があると思います。まだ具体的な案というのは出せませんが、今もやっているとありますが、青年会議所などの団体と交流を図って一緒に活動ができていければいいなと思ってます。特に人数が少なくなればなるほど、他団体と協力してやっていくことによって、場合によっては会員の増強にも繋がってくると思いますし、奉仕活動などもやりやすくなってくると思いますので、そういうことをもっと強化しながら今後ロータリークラブの活動に活かしていければと思ってます。以上です。ありがとうございました。